

- ・ p88 商品は、二重形態(自然形態と価値形態)をもつかぎりにおいてのみ、商品として現れ、商品の形態を持つ。
- ・ p89 諸商品の価値対象性(価値であることの意味?)は、商品と商品との社会的関係においてのみ現れる(交換価値、交換比率から商品の価値をさぐりえた)。
  - 価値の現象形態に帰る。
- ・ いまだかつてブルジョア経済学によって試みられたことのない、貨幣形態の発生を証明しよう。これをもって貨幣の謎は消え失せる。

### A 単純な、個別的な、または偶然的な価値形態 90p

※亜麻布 20 エレ = 上衣 1 着(「値する」との表現) ※第一の形態

「亜麻布所有者は上衣が欲しい」という関係性の式。数学のイコールではない(向坂)

#### ○ 1 価値表現の両極、すなわち相対的価値形態と等価形態

- ・ 91p 亜麻布は「相対的価値形態—他の商品によってのみ表現される」  
上衣は「等価形態—他の商品の価値表現に材料を提供しているだけである」
- ・ 逆の表現も可能 = 92p 「二つの形態は、対極的に排除しあう」

#### ○ 2 相対的価値形態 92p

##### a 相対的価値形態の内実

- ・ 92p 価値関係は、まずは「その量的傾向から全く独立して考察しなければならぬ」
- ・ 93p(亜麻布に対して)上衣は価値の存在形態、すなわち価値物となされる。
- ・ 94p 商品は人間労働の凝結物である…ことは、価値抽象に制約するものではあるが…価値形態を与えるものではない。
- ・ ※ 95p 人間労働は、価値を形成するのではあるが、価値ではない。
- ・ 97p 亜麻布なる商品の価値は、上衣なる商品の肉体で表現される。商品の価値は他の商品の使用価値で表現されるのである。
- ・ 98p 商品Aが、商品Bを価値体として、すなわち人間労働の体化物として、これに関係することにより、商品Aは、使用価値Bを、それ自身の価値表現の材料とするのである。商品Aの価値は、このように商品Bの使用価値に表現されて、相対的価値の形態を得るのである。

##### b 相対的価値形態の量的規定性 98p

- ・ 99p 価値形態は、ただに価値一般を表現するだけでなく、量的に規定された価値、すなわち価値の大いさをも表現しなければならぬ。
- ・ I 亜麻布の価値は変化するが、上衣価値は不変であるとする場合
- ・ 亜麻布 20 エレ = 上衣 1 着が上衣 2 着 or 上衣 1 / 2 着の場合 ※亜麻布の生産性
- ・ II 亜麻布の価値は不変であって、上衣価値が変化する場合 100p
- ・ 同上方程式→上衣の生産性が変化
- ・ ※ 100p I と II の量的変化は、全く相反した原因から発生しうる
- ・ III 亜麻布と上衣の生産にそれぞれ必要な労働量は、同時に同一割合で変化することもある。101p
- ・ 101p この価値変化を発見するには、これらの二つの商品を、価値不変なる第三の商品と比較しさえすればよいのである。
- ・ IV 亜麻布と上衣の生産にそれぞれ必要な労働時間、したがってそれらの価値は、同時に

同一の方向に変化するとしても、ちがった程度に変化する場合、または反対の方向に変化する場合等々がある。

・上記 I・II・III の応用→

【結論】101-102p 一商品の相対的価値は、その価値が不変であっても変化しうる。変化しても不変でありうる。同時的変化は決して相互に一致するわけではない。

### ○3 等価形態 103p

・104p 商品の等価形態は、むしろ何らの量的価値規定をも含んでいないのである。

(第一の特性) 使用価値がその反対物の現象形態、すなわち価値の現象形態となる。商品の自然形態が価値形態となる。

・106p(鉄と砂糖の例)→重量尺度としての比較(重さだけを代表)。上衣は亜麻布の価値、社会的なものを代表している。

※ 107p 等価形態の謎…この形態が完成した形で貨幣となって、経済学者に相対するようになる…彼は金や銀の神秘的な性格を明らかにしようとして…光り輝くことのもっとも少ない商品にすりかえて…下賤な商品で、その時々商品等価の役割を演じたものの目録を、述べ立てるのである。

・108p(第二の特性) 具体的労働がその反対物、すなわち抽象的に人間的な労働の現象形態となる。

109p(第三の特性) 私的労働がその反対物の形態、すなわち直接に社会的な形態における労働となる。

※ 109-11p アリストテレスの限界…しとね 5 個 = 家 1 軒 = 貨幣一定額「交換は等一性なくしては存在しえない。だが、等一性は通訳しうべき性質なくしては存しえない」。

家がしとねに対していい表している 共通の実態 は何か? そんなものは「真実には存しえない」とアリストテレスは述べている。

人間労働なのである。— ギリシャ社会は奴隷労働、人間とその労働力の不等を自然的基礎としていた。

人間は等しいという概念が、すでに一つの強固な国民的成心となるようになって、はじめて解きうべきものとなるのである。

### ○4 単純な価値形態の総体 111p ※A のまとめ

・111p ある商品の価値は、「交換価値」として現示されることによって、独立的に表現されている。この章のはじめに…商品は使用価値であり、また交換価値であると言ったのであるが、このことは正確に言えば誤りであった。商品は使用価値または使用対象であり、また「価値」である。商品は、その価値が、その自然形態とちがった独自の現象形態、すなわち交換価値という現象形態をとるとともに、ただちに本来の性質であるこのような二重性として示される。そして商品は…つねに第二の異種の商品にたいする価値関係、または交換関係においてのみ、(この形態を) もっているのである。

このことを知ってさえいけば、先の言い方は無害であって、簡略にする役に立っているのである。

・113p 労働生産物は、どんな社会状態においても使用対象である。

ある歴史的に規定された発展段階のみが、一つの使用物の生産に支出された労働を、そのものの「対象的」属性として、すなわち、その価値として表すのであって、この発展段階が、労働生産物を商品に転化するのである。

・114p(単純な価値形態は) 一連の変態をへて、やっと価格形態に成熟してくる萌芽形態なのである。

・その商品の個別的な価値表現は、そのそれぞれちがった単純な価値表現の、いくらでも延長されうる列に転化されるのである。

### B 総体的または拡大せる価値形態 115p

亜麻布 20 エレ = 上衣 1 着 or = 茶 10 封度 or = コーヒー 40 封度 or = 小麦 1 クォーター  
or = 金 2 オンス or = 鉄 1 / 2 トン or = その他 ※第二の形態

#### ○ 1 拡大された相対的価値形態

- ・ 116-7p(第一の形態)は偶然事実であるかもしれない…が、第二の形態では偶然の現象と本質的に区別される。
- ・ (第二の形態では)交換が商品の価値の大いさを規制するのではなく、逆に商品の価値の大いさが、その交換比率を規制するのである

#### ○ 2 特別な等価形態 117p

- ・ 117p 上衣、茶、鉄等の商品は…おのおのの特定な自然形態、(おのおのが)一つの特別な等価形態である。

#### ○ 3 総体的または拡大された価値形態の欠陥

- ・ 商品の相対的な価値表現は未完成で…表示序列がいつになっても終わらない  
無数の他の特別な等価形態…なんら統一的な現象形態をもたない。  
※これをひっくり返してみよう

### C 一般的価値形態 119p

上衣 1 着	=	} 亜麻布 20 エレ	※第三の形態
茶 10 封度	=		
コーヒー 40 封度	=		
.....	=		
金 2 オンス	=		
.....	=		
その他の商品量	=		

#### ○ 1 価値形態の変化した性格 120p

- ・ 120p(この第三の形態では)諸商品は、唯一の商品で…単純に…同一商品で…統一的に表している。単純で共同的であり、したがって一般的である。
- ・ 122p 商品世界の一般的な相対的価値形態は、この世界から排除された等価商品である亜麻布に、一般的等価の性質をおしつける。亜麻布自身の自然形態は、この世界の共通な価値態様であり、したがって、亜麻布は他のすべての商品と直接に交換可能である。

#### ○ 2 相対的価値形態と等価形態の発展関係 123p

- ・ 126p 一般的等価という役割を演ずる商品は、商品世界の統一的な、したがって一般的な相対的価値形態から排除される。  
一般的等価の相対的価値を表現するためには、われわれはむしろ第三形態をひっくり返さなければならない。

#### ○ 3 一般的価値形態から貨幣形態への移行 126p

- ・ 一般的等価形態は価値一般の形態である。それはどの商品にも与えられる。
- ・ 終局的にある特殊な商品種に限定される瞬間から、初めて商品世界の統一的相対的価値形態が、客観的固定性と一般的に社会的な通用性とを得たのである。  
そこでこの特殊なる商品種は、等価形態がその自然的形態と社会的に合成するに至って、

貨幣商品となり、または貨幣として機能する。

・ 127p この特別の地位を、第二形態で亜麻布の特別の等価たる役を演じ、た第三形態でその相対的価値を共通に亜麻布に表現する諸商品のうちで、一定の商品が、歴史的に占有したのである。すなわち金である。

**D. 貨幣形態 127p**

亜麻布 20 エレ	=	}	金 2 オンス	※第四の形態
上衣 1 着	=			
茶 10 封度	=			
コーヒー 40 封度	=			
.....	=			
鉄 1 / 2 トン	=			
その他の商品量	=			

**A. Elementary or Accidental form of value**

x commodity A = y commodity B, or  
 x commodity A is worth y commodity B,  
 20 yards of linen = 1 coat, or  
 20 yards of linen are worth 1 coat.

1. *The two poles of the expression of value:  
 Relative form and Equivalent form*

**B. Total or Expanded form of value**

z Com. A = u Com. B or = v Com. C or = w Com. D or = x Com. E or = &c.  
 (20 yards of linen = 1 coat or = 10 lbs. tea or = 40 lbs. coffee or = 1 quarter corn or = 2 ounces gold or = 1/2 ton iron or = &c.)

1. *The Expanded Relative form of value*

The value of a single commodity, the linen, for example, is

**C. The General form of value**

1 coat	}	= 20 yards of linen
10 lbs. of tea		
40 lbs. of coffee		
1 quarter of corn		
2 ounces of gold		
1/2 a ton of iron		
x com. A., etc.		

1. *The altered character of the form of value*

form C we replace the linen by gold, we get,

**D. The Money-form**

20 yards of linen	=	}	2 ounces of gold
1 coat	=		
10 lbs. of tea	=		
40 lbs. of coffee	=		
1 qr. of corn	=		
1/2 a ton of iron	=		
x commodity A	=		

・ 128p 商品としての金…すでに以前から商品として相対してきた。しだいに金が、一般的等価して、この地位の独占を奪い、貨幣商品となった。

そして第四形態が第三形態と区別され、一般的等価形態は貨幣形態に転化された。

亜麻布の単純な相対的価値形態は、価格形態である。